

R3年度認定こども園百華保育園

自己評価結果

1、本園の教育目標

<ul style="list-style-type: none"> ・活動体験を十分に積み重ねる ・養護による自己発揮を考慮し、乳幼児期にふさわしい生活の展開 ・遊びを通じた指導を中心として5領域のねらいを達成 ・園児一人一人の発達の課題に即した指導
--

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

2、評価項目の達成及び取組状況

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価						
項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか		○			「幼保連携型認定こども園教育保育要領」を踏まえ、0歳児から小学校就学前までの園児の成長を見据え、一貫した保育・教育を行っている。一人一人の育ちを丁寧に受け止め、職員が協力して目標に向かって教育・保育の実践に努めている。今後も、重点目標を全職員共通理解の上進めていく。
	(2)重点目標は、当園や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3)重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4)重点目標は、前年度の反省を生かしているか。			○		
	(5)重点目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。			○		
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				園児の心身の成長発達にとって、極めて重要な時期の保育・教育に携わっているということを職員は十分に認識し、資質、専門性の向上に努めた。全体的な計画、指導計画を基本とし、
	(2)認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3)環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。		○			

	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○		週案・日誌等では、日々の保育を振り返り、次の指導計画を立案している。形式や記録の方法等については、必要に応じて見直しをしている。保育の考察・反省は丁寧に記録し、その後の保育に活かすよう努めている。環境構成を再度見直し、主体的に活動できるような設定の工夫をしていく。
	(5) 評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。		○		
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○		園児の生活リズムに配慮し興味や関心を大切にしながら教育・保育を進めている。発達に合わせたプログラムに取り組んでいるが、柔軟に対応している。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○		新型コロナウイルス感染症の影響で中止や内容の変更などあった。その中でも感染予防を行いながら、運動会やお慶び会・作品展を行い、保護者の方からも喜びの声が聞かれたり、職員の達成感にも繋がったのではないかと思う。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○		
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○		
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○		
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○		

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか		○		シフト勤務のため、各クラス連絡を取り合い、応援に入ったり、協力しながら職種・経験年数等を考慮した職員配置を行い、全職員が協力できる体制づくり
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか		○		
		(3) 係や仕事の分担・割り当て		○		

	は適切か。				を実施している。
運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		定期的に職員会議を開き、情報交換や共通理解を図っている。記録を残し、全職員に内容が周知できるようにしている。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
	(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か		○		
年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○		個々の子どもの実態に合わせた目標や援助について話し合い実践している。年齢別・園全体と保育についての計画表を事前に提出し、振り返りがスムーズに行える組織作りを考え実践していきたい。また、異年齢児間においては、職員同士が常に連携を図り、それぞれの年齢の発達を考慮しながら実践している。乳児の異年齢児交流に関しては、更なる検討が課題。
	(2) 年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか、		○		
	(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○		
	(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
	(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
	(6) 評価・諸記録(帳簿類)を集積しているか		○		
保 険 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		感染症については、入園時や季節に応じてお便りを出し、周知に心掛けている。 感染症が出た場合は、掲示し保護者に注意を促している。 避難訓練については、火災・地震・水害・不審者等の内容を年間を通して計画的に実施した。保護者へもお便り等で発信して
	(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。		○		
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		

										いるが、伝わっていない部分もあるので、発信の仕方等工夫が必要と思われる。
研究・研修	園内研修	(1) 園内研修の計画・運営は適切か。		○						感染対策のため、中止になった研修も多かったが、リモート等を活用し、保育の質を高めようと努力した。
		(2) 園内研修、研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○							
	園外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○						園外研修に参加出来る時は、職員の偏りがなく、派遣することができた。受講後は園内研修で研修報告を取り入れ、一人一人、保育の質向上に繋がる取り組みが出来た。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○							

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			個人情報保護方針に基づき、職員は、保守義務を遵守しているが、更なる徹底が必要。重要事項説明書の中で保護者に個人情報の取扱いに関する説明をし、同意書を提出してもらっている。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか		○			
施設・整備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			施設設備については、毎日の清掃等の時に点検し、安全で衛生的な環境を整えている。遊具については、安全点検を職員が行い、危険箇所については業者に依頼し、早急に対応するようにしている。また、防犯研修として警察署とスクールサポー
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか		○			
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				

						ターに依頼し、不審者対応の研修を取り入れている。
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				監事に年1回監査を受け、監査報告をしている。
開かれた子ども園づくり	施設間交流・連携	(1)他施設との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○		園児理解については、綿密に小学校と情報交換することができ、就学に向け子どもたちがスムーズに移行することができる環境をつくることのできた。 職員の情報交換だけではなく、年長児も含め、今後交流していく必要がある。
		(2)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○	
		(3)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○		
	家庭・地域社会との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	保護者以外を対象とした参観は、安全面やプライバシー等の観点から、なかなか難しいと考える。以前実施していた高齢者施設の方との交流についても、現状として実施は難しいが、ビデオレターの交換等、感染対策を講じながら、できる交流の在り方を模索し、実践につなげることができた。 地域の方との交流は今後の課題である。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○		
		(3)乳幼児の興味や関心にもどづいて地域社会・その他の施設と交流している。			○	
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
	子育て支援の推進	(1)地域の子育て支援を推進する施設として、地域に住む親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定をしているか。		○		個別懇談等を行い、保護者の意見や相談に対応している。 園開放(月2回)、一時預かり事業を実施している。 子どもの発達については、市の保健師や発達相談室と必要に応じて連携
(2)「子育てについて」など、園や地域の保護者を対象とした学習会の機会を設定しているか。				○		

		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○	を取り、情報交換を行っている。
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。			○	
情報 の 発 信		(1) 園だより、クラスだより、HP等で施設の情報を発信している。	○			各お便りは毎月発信している。2歳児以上クラスはドキュメンテーションを園内掲示し、日々の保育を知らせている。行事などについては、ホームページを利用し、情報を共有している。園開放は掲示し、周知している。更に園開放や行事を知らせるための発信を多方面で検討していく。(回覧板・ライン等)
		(2) 行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○	
外 部 評 価		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映している			○	第三者評価者導入については、今後の検討課題である。保護者に対しては、評価アンケートを取り、結果を保護者に公表している。結果を受け止め、職員全体で問題を認識し、改善に向けて取り組みようになっている。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映している。			○	

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・令和3年度の反省を踏まえ、重点目標を見直し、全職員共通理解の上、保育・教育を進めてまいります。
- ・多方面で新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事の中止や内容の変更等がありました。その中でも感染対策を講じながら、行事や保育内容の在り方を模索し、保護者の皆様の協力を得ながら進めてきました。更なる質の向上に向け、異年齢児との交流、環境構成の見直しを行い、主体的な活動へと繋げていく必要があると感じました。
- ・地域との交流も今後の課題となります。地域や小学校、関係機関と連携を図っていくよう、交流の在り方を模索し、実践に繋げていく必要があります。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育目標について	重点目標を定め、全職員共通理解の上、保育・教育を進めていく。
開かれたこども園づくり	新型コロナウイルス感染症の影響等で難しい部分もあるが、どんなことができるのか模索しながら、小学校との連携を図ったり、地域の行事などの参加等、検討していきたい。 園開放や子育て支援事業を通して、地域に根付いた、安心していただけるこども園を目指していく。
第三者評価導入について	第三者評価導入については、今後の検討課題となります。